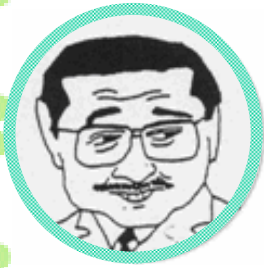




日本老年行動科学会 平成20年度定時総会
記念講演

「認知症の心理学」



日本老年行動科学会理事・駿河台大学教授

井上 勝也

&

「井上教授にズバリ訊く！『認知症の心理学』Q&A」

司会：佐藤 眞一（日本老年行動科学会会長・明治学院大学教授）

質問者：荒木 乳根子（同常任理事・田園調布学園大学教授）

本田 憲康（同副会長・特別養護老人ホーム木更津南清苑施設長）

尾崎 純郎（同常任理事・中央法規出版株式会社）

—敬称省略—

日時：2008年2月17日（日）14:00～16:00

会場：明治学院大学白金キャンパス2401教室

日本老年行動科学会の前会長であり、学会の創設者ともいべき井上先生は、高齢者心理研究の第一人者です。よりよい高齢者の理解のためには、研究側と実践側、それぞれの知識と経験を持ち寄って交流することが大切との考えから、長年にわたり学会を支援して来られました。

その研究も「スープのさめない距離とは？」『ポックリ願望』の真意とは？」「徘徊をポジティブにとらえられないか？」など、身近でありながら斬新な発想に基づくものばかりです。また、長谷川式認知症スケールの考案者のひとりとしても知られております。

「日常介護で精一杯、心理だなんて・・・！」とお考えの方も是非ご参加ください。今まで不思議だったこと、困っていたことに対する解決のヒントがあるかもしれません。

井上先生の講演後には、聴衆を代表して、研究・実践・オブザーバーの立場から上記3氏が鋭く質問し、佐藤先生が行司役として軍配をさばきます。